

**第 8 回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院
地域連絡協議会議事録**

【日 時】 2018 年 11 月 19 日（月） 14 時 00 分～14 時 30 分

【場 所】 大会議室（中央棟 6 階）

【議 題】 I 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

- 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料 1
- 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料 2

II 「中京病院の働き方改革に向けて」 池田公副院長

III 討論

IV 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

大島伸一、尾辻美和子、加藤雅通、狩野良雄、喜多村隆、久野雅芳、鈴木 学、清水準一、永田悦子、日比野正範、村井満美子、山口賢司

【欠席者】

今村修治、加藤里香、柴田真一、水谷武彦、安井 直、安江直二、山田規貴

【当院出席者】

絹川常郎、柴田元博、池田公、加田賢治、細田毅、大矢早苗

【オブザーバー】

独立行政法人地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所より 3 名

【開会挨拶】

（絹川院長）

中京病院院長の絹川です。最近、院長が外で会議すると話題となる 2 つのキーワードは、地域医療構想と医師の働き方改革です。国は、急性期病床を減らして回復期に重きを置きたいと考えており、病床機能報告とは別に、いくつかの県では、病棟の機能の定量化の指標が出されています。国が奨励している埼玉県の方式は、地域医療構想策定の中で、2025 年の県の病床数と、その機能が試算されましたが、その数字に近いデータが出ることもあり、愛知県はこれを真似ようとしています。12 月 3 日には、愛知県医師会主催の、医療圏医療協議会で、愛知県からのその説明が予定されています。

医師の働き方改革は厚労省が来年 3 月までにガイドラインを出す予定ですが、5 年間の猶予があるとは言え、今よりは、医師の労働時間については、病院にとって厳しい基準となると予想されています。24 時間医師が病院にいるからやっつけていける急性期医療は、病院医師の仕事のタスクシェアとタスクシフトの実現が重要課題です。このうち、タスクシェアは、近隣のクリニックなどとの仕事の棲み分けでも実現できます。紹介率、逆紹介率の基準をクリアすることで、地域支援病院の認定は取れましたが、これからは、この問題を正面に出して、本日出席の委員の方々とディスカッションを進めていかなければいけないと考えている所です。

今日も活発な討論をいただきまして、地域支援委員会の目的を達したいと思えます。

（山口委員長）

南区医師会の山口です。

医師会の関心事項があります。来年 4 月に名古屋で行われる日本医学会総会の成功です。各区に事前参加登録の目標値が設定されております。このような会に行くたびに参加をお願いしている次第です。中京病院におかれましても、B 会員でぜひご協力をいただきたいので、

絹川先生からもよろしくお願ひ致します。南区医師会からですが、去年から市内 16 区の中学校における救護所設営訓練が始まりました。南区は今年 2 回目で、11 月 25 日に本城中学校で行われます。中京病院の上山先生と黒木先生にはご指導いただきまして、さらに薬剤師会さんと歯科医師会さんとの協力をえて、本番に備えます。皆さんご周知のほどお願ひします。

(加藤理事)

愛知県医師会の加藤でございます。今しがた山口先生から医学会総会のご案内をしていただきました。ありがとうございます。本当は、私の方から皆様にお願ひしなければいけない所で、柵木会長から皆様にお願ひするようにならされていますが、皆様お時間ありましたらご参加よろしくお願ひします。

旬の話題としてお伝えするのは、消費税の問題です。12 月にかけて税制大綱が出ます。医療機関における消費税の問題をどうするのかというのが盛り込まれるはずですが、盛り込まれなかったらこれで終わりです。中京病院のような救急をしている病院は消費税相当分が診療報酬で補てんされていると考えられてきましたが、7 月に中医協でこれまでの補てん状況が間違っていたと数字がでました。補てんをされている割合が 6 割しかなかったのです。精神科の病院のような入院期間が長い患者の多い病院は 100 パーセントを超えて、補てんが潤沢という凸凹があるとわかりました。税金の問題は税金でなんとかしなさいと盛んに訴えてきました。年末に自民党の与党の中の税制小委員会で 1 人の議員が二つほど意見を言えます。問題点が何かを調査して、次の税制大綱に何を加えるかという意見です。医療の消費税のことは問題だと言える議員が何人いるかということが今後重要になってきます。医師会としては地元の国会議員の先生方に病院の消費税の問題は大事だということを言ってくださいとお願ひしています。お知り合いの先生がいましたら、そういった事をお伝えてください。今が最後のチャンスで、この時を逃したら、消費税の問題をずっと引きずったままで、診療報酬の中に上乘せされたと言ってしまうやむを得ない形になってしまうといわれています。この問題、年内には決着がつくだろうといわれている状況です。

(永田理事)

名古屋市医師会の永田と申します。医学会総会のことは毎回いわれていますが、会長、県の加藤先生からもお伝えしていただきました。

ここ連日テレビなどで、年配のかたが救急車を呼ぶと、最後は救急病院でいろいろオーバーな治療をされたと報道されていますが、前回も山口会長が言われましたとおり、バックアップ医体制を名古屋市医師会で立ち上げ、開業医が休診の時は、まず、看護師さんが在宅で患者さんを診て、コールがあればバックアップ医が診て、看取りだと判断すればその場で看取りをする。後方支援病院へお願ひしたい時には、はちまるネットシステムを使って病診連携ネットを立ち上げ、検査などは、必要に応じて大きい病院へ依頼していきたいと思っています。この地域では山口先生が中心となってこのシステムを推進されていますので、そちらもよろしくお願ひします。

【概要】

I 地域医療連携に関するデータ報告 (加藤室長)

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移 (資料 1)

地域医療支援病院報告事項一覧 (資料 1-1)

◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は 73,756 人、入院患者延数は 44,268 人、稼働病床利用率は 78.6%、平均在院日数は 11.1 日、在宅復帰率は 97.4%となっている。

◆ 紹介・逆紹介実績（資料 1-2）

初診患者は 4,786 人、紹介患者数 3,165 人（紹介率 66.1%）。逆紹介患者数は 4,588 人（逆紹介率 95.9%）となっている。

◆ 救急実績

患者数が 4,619 人（うち 22.8%が入院）となっている。救急車搬送患者は 1,707 人の診療実績となっている。

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）（資料 2）

2018 年度（7～9 月実績）FAX 紹介受診予約／FAX・Web 紹介検査予約について（資料 2-1）

紹介受診予約件数は月平均約 820 件、前年度比 100%前後になっている。

検査予約は CT、MRI、エコー検査、上部消化管内視鏡検査を中心に月平均で約 140 件の予約を頂いている。

2018 年度（7～9 月実績）開放型病床利用（資料 2-2）

眼科、内分泌・糖尿病内科で多く利用をいただいております、利用施設も資料にある通りである。今後とも引き続きご利用願いたい。

II 「中京病院の働き方改革に向けて」 池田公副院長

《要旨 - スライドより抜粋》

- ・ 何のための働き方改革？
- ・ 医療従事者現を踏まえた医療政策を根本新厚労相で病院団体トップから
- ・ 今、日本で進む働き方改革と急性期病院の立場
- ・ 当院を含む病院に要求されていること
- ・ 現時点で分かっていること
- ・ 現時点で行うべきこと
- ・ 具体的な取り組み（案）
- ・ 患者さん・ご家族へのお願い
「患者さん・ご家族への病状説明は、原則として時間内に行います」

III 討論

IV 閉会

2019 年度 地域連絡協議会開催予定

2019 年 5 月 17 日（金）14 時～ 中京病院中央棟 6 階 大会議室